

## 平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月12日

よなご知財活用支援センター

### I 事業の成果

「地球温暖化防止」「環境問題」の観点に立ち、昨年度と同様に昭和から平成時代に台所の担い手であった中高年の主婦を中心に、食品のトレイ・ラップ包装につき意見を求めた。

意見を寄せられた多くの方は、「数年前から、直接口に入れない商品まで、包装が過剰になっているとの意見が多く寄せられた」。

この件について、注目すべき事例が1981年に高知市で「青果物トレイ包装廃止」の取り決めがなされている。その内容は下記のようなものである。

#### 高知市の取り組み（1981）

市内のデパートと量販業界が高知生活学校の申し入れを受け入れ、トレイ禁止項目とした品目は以下の70品目であった。

大根 蕪 人参 牛蒡 筍 レンコン 白菜 さんとう菜 小松菜 春菊 キャベツ  
ほうれん草 ねぎ わけぎ りゅうきゅう 露 独活 三つ葉 萵 セロリ アスパラ  
カリフラワー レタス ブロッコリー パセリ 芹 胡瓜 瓜 南瓜 茄子 ピーマン  
オクラ 鞘隠元 さやえんどう そら豆 枝豆 もやし 甘藷 馬鈴薯 サトイモ  
やまいも 長いも 玉葱 にんにく らっきょう 生姜 葉しょうが わさび ゆず  
うんしゅうみかん 夏みかん グレープ・フルーツ オレンジ りんご 梨 柿 梅  
栗 銀杏 パイン バナナ パパイヤ マンゴウ レモン キウイ メロン 西瓜  
トウモロコシ（1983には、青ソウ 洋セリが追加）

また、1989年に行なった、高知生活学校の「トレイ・プラスチック包装に関するアンケート」よれば次の事項が報告されている。（注：アンケート配布数500人、回答者476人、回収率95.2%）。その結果は以下のようなものである。

#### トレイ・プラスチック包装の不必要な品目

	品目	人数	%
1位	野菜・果物	389人	82%
2位	干物	214	45
3位	魚類	97	20
4位	肉類	54	11
5位	漬物	48	10
6位	そう菜類	34	7

高知県に限らず全国の自治体で、家庭ごみに関しても排出削減に向けて、実施・検討中であることは言うまでも無いことである。

ちなみに、古い資料であるが「月間消費者」（1990年4月号）に全国の一人1日当たりのごみ排出量（g）が記載されている。それによると上位10位は、

1位 東京	1, 228	6位 石川	914
2位 大阪	1, 215	7位 兵庫	892
3位 北海道	1, 014	8位 新潟	887
4位 神奈川	955	9位 青森	879
5位 鳥取	921	10位 京都	867

下位10位は

47位 佐賀	584	42位 岐阜	710
46位 山形	626	41位 大分	711
45位 熊本	650	40位 岩手	727
44位 滋賀	651	39位 広島	729
43位 山梨	707	38位 福島	734

であった。隣県の島根は、36位 736gであった。

家庭ごみの基準が全国で統一されているものではなく、決定的な数値で無いと思われるが、それにしても人口最小県の鳥取にしては多いように思われる。それで他のデータを見ると（環境省『一般廃棄物処理実態調査』2010年度）には、順位がずいぶん入れ替わっていることがわかる。

1位 山口	1, 242g	2位 大阪	1, 090	3位 群馬	1, 078
4位 青森	1, 047	5位 新潟	1, 034	6位 北海道	1, 020
7位 和歌山	1, 010	8位 東京	1, 008	9位 兵庫	1, 006
10位 山梨	1, 001				

残念ながらこの資料でも鳥取の排出量は増えており964g、島根は917gであった。行政・市民の立場から将来にわたっての大きな課題である。

昨年度にも掲げたように大型量販店でのトレイ・ラップを減らすことが、資源の無駄づかい、温暖化防止につながることは明々白々たる事実である。しかし、人間は自分に利害が及んではじめて気がつくものである。「温暖化防止」と吹聴して、も効果は望めないもつと具体的に示すべきである。トレイ・ラップは何から作るか、その原料は何処にあり、どうして運ぶか、トレイを作るまでにどれだけのエネルギーを使うか。そのトレイに食品を入れ、ラップをかぶせヒータで接着する。食品の販売過程においても、電力使い、その上人件費も必要である。これらの行程を省けば商品の廉価は自明の理である。

## II その他の事業 なし

平成30年度 財産目録  
 平成31年 3月12日現在

特定非営利活動法人よなご知財活用支援センター

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	51,900		
流動資産合計		51,900	
2 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			51,900
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			0
正味財産			51,900

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

科 目	金 額 (単位： 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	51,900		
流動資産合計		51,900	
2 固定資産	0	0	
資産合計			51,900
II 負債の部			
1 流動負債	0	0	
流動負債合計		0	
2 固定負債	0	0	
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		51,900	
当期正味財産減少額		0	
正味財産合計			51,900
負債及び正味財産合計			51,900

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月12日まで)

なごみ財活用支援センター

科目	金額 (単位:円)		
I 収入部			
1 財産運用収入	0		
2 会費・入会金収入	0		
3 事業収入			
御事業 (第4回日本ナシ検定講座)	0		
4 寄付金収入	0		
当期収入合計 (A)		0	
前期繰越収支差額 (設立時資金有高)		51,900	
収支合計 (B)		51,900	51,900
II 支出部			
事業費			
御事業 (第5回日本ナシ検定講座中止)	0		
当期支出合計 (C)			0
当期収支差額 (A) - (C)			0
次期繰り越収支差額 (B) - (C)			51,900

30 年度 役員

特定非営利活動法人

よなご知財活用支援センター

役名	氏名	住所又は居所	報酬の有無
理事	瀬古 勲		無
理事	永井 徹		無
理事	二宮 厚		無
監事	伊東 昌行	<p>4名共就任期間付                      (平成30年4月1日から平成31年                      3月12日まで)</p>	無

社員名簿

特定非営利活動法人  
よなご知財活用支援センター

氏名	住所又は居所
瀬古 勲	
永井 徹	
二宮 厚	
大塚 正司	
八切 敏郎	
伊東 昌行	
湯浅 伸二	
田邊 春彦	
竹中 和彦	
石橋 純樹	
山崎 博司	
戸崎 謙一	